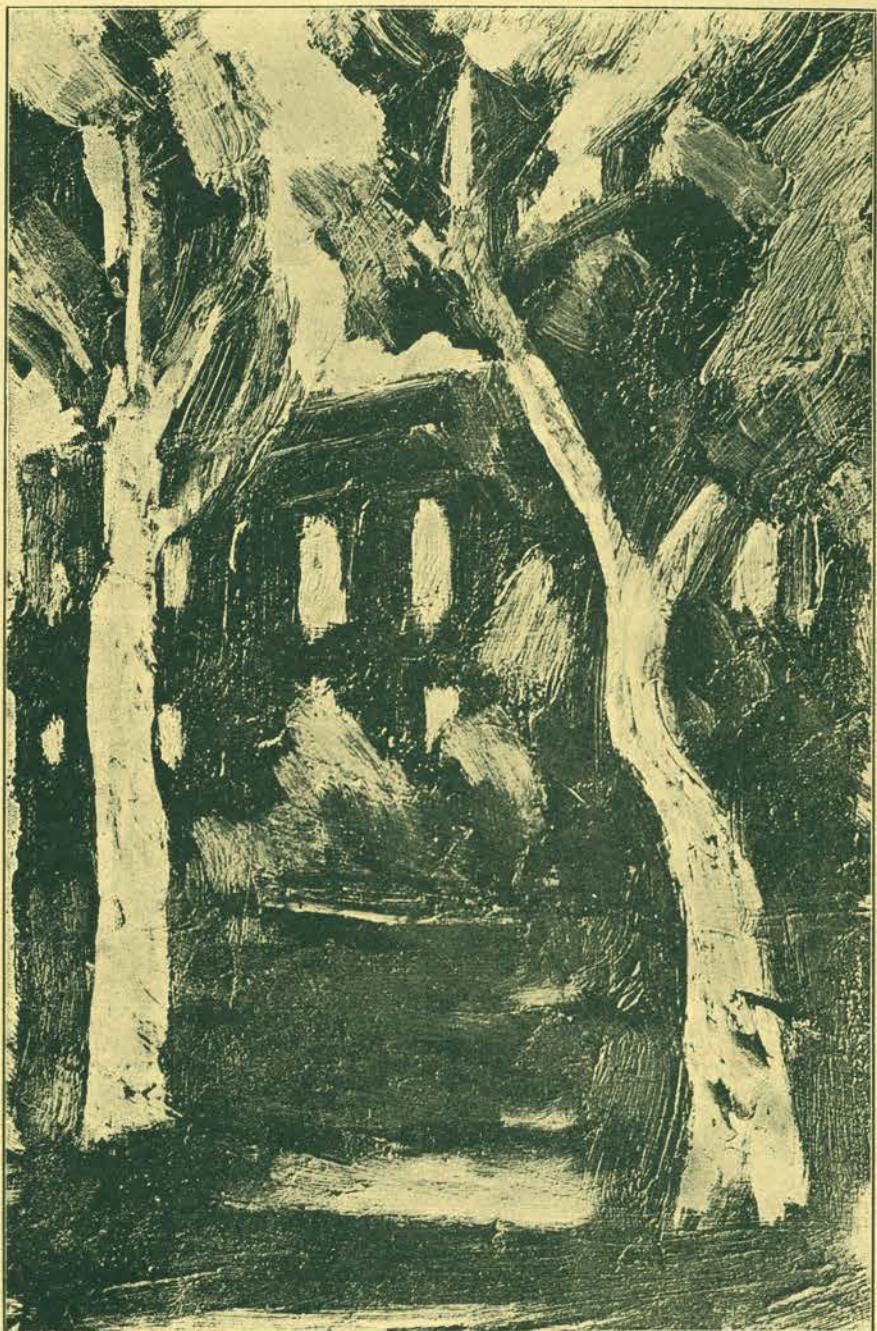


2012 box 0014 xxxx





The Souvenir

1924

K. H. C. S.

内 容

序 文	1
題 字	2
College Songs	3
校 長	5
學 圖	6
研 學	17
學友會	35
事 務	50
丘のさくろざくろ	55
丘人のつごひ	66
追 憶	75
商大問題	80
祝ひの蓮	87
回 想	99
丘 人	114
先 生	115
Our Friends	140
商大さ京大さの友	206
故 人	220
附 錄	224
學校沿革略	224
學校配置圖	225
職員名簿	226
學生氏名索引	229

序の言葉

清明の丘をめぐる世間はあれ天行の賤をやましくうそ。せりゆくまことあさしき過渡の
相あらむ。物語とて翁に生と死とを行ひ瞬代を風すとまこと。顧ば簡陵四年の生活は
至れば過渡の悲い。まことに翁の生と死の懐かはれ初々宿禰の苦思の終す。以山を大學の要請
と謂ひ自由にて眞摯な精神と云ひて、向ては新しさ價值創立の過程をうそ。
今や吾らの命を蒙らし丘をめぐる新き途上る。運命は寂しき柳園畠栗の山、登高の
悲願と別離の哀愁と立ち裏に開け行進をうね悲壯す。されば見よ、望山栗の山、登高の
就生の春は萬象として走轉りる。さうに行ひ。かの反よ、新しさ力もて新しさ旅をうそ。
終活の地を裏て進むはまだ師父の手、うへ歸るは既に山の手。
植
+
3

恭賀新禧

吉慶有餘

甲子年夏月 王羲之書

商 神

商シンアヤナスツバサヨアゲテ レイ杖 ハルカニヒガシヲサセバ
クシキコノミハクモマタモリテ アキツシマネニオツトリミエシト
コロハココゾキクスヰカヨルミナトガハラノチカキホトリニ
カフツタハリシアメノサトシモヒトハサトラモイクトセカヘ又

此所摩耶の山六甲の峰、連り亘る山ぶところに、數の若鷹はぐくまれ居て、靜にうかぶ雲の行かひ、朝妙なる琴のひびきは、敏馬の濱に松な吹く風、夕やさしき舞の姿は、茅渟の浦曲に白帆行く影。

(三) 希望に満てる春の潮の、寄せてはかへす清き渚や、熱誠もゆる夏の盛を、いたはる風の葦合の里、須磨や明石をかけて照らん、月には物のあわれをぞ知る、冬は凜たる後の嵐、奔馬空行く勢示す。

(四) 夫れ山水の秀靈の氣は、偉人傑士を起だしむるゝや、天の使命を胸に收めて、清き自然に抱かれながら、筋骨鍛へ智徳を研く、切磋琢磨の四年の春秋、養ひ得たる鬱勃の意氣、抱負を語れや千餘のを。

(五) 金甌無缺の三千餘年、かがやく光は劍の譽、心はおなじ大和男子の、我等は牙籌を執つて起らむ、扶搖萬里の風を起して、おのが向々東に西に、雲に突き入る勢見よや。

雄飛の時ぞ尋離れて、野に立出づる蒼鷹幾羽、爪も研きぬ力も足りぬ、尋にも餘る翅を張れば、枝の百鳥皆憚れ伏す、扶搖萬里の風を起して、おのが向々東に西に、雲に突き入る勢見よや。

(六) あゝ芳はしき櫻の國の、咲くや此花難波津近く、帆船黒船出入しけき、神戸は我等の北渓なるぞ、鵬翼圖南の時至る迄、いざや静に學び修めて、祖國の榮を我等祈らむ、我等の榮を神に祈らむ。

商 神

(一)

商神彩なす翅をあげて、靈杖遙に東を指せば、靈しき果實は雲間を漏りて、秋津島根に落つぞと見ゆし、所はこそ菊水なる、湊河原の近きほどりに、かく傳はりし天のさしも、人はさざで幾年か経ぬ。神の吹息のこもりて成りし、靈果いかでか地に朽つべき、豊榮昇る朝日のかけに、八洲の外の潮風吹きて、いつしか催す氣運に乘じ、わが學校ぞ世に生れたる、眠る商界夢ますべき、使命は天の授けし所。

(二)

(三)

此所摩耶の山六甲の峰、連り亘る山ぶところに、數の若鷹はぐくまれ居て、靜にうかぶ雲の行かひ、朝妙なる琴のひびきは、敏馬の濱に松な吹く風、夕やさしき舞の姿は、茅渟の浦曲に白帆行く影。

(四)

(五)

夫れ山水の秀靈の氣は、偉人傑士を起だしむるゝや、天の使命を胸に收めて、清き自然に抱かれながら、筋骨鍛へ智徳を研く、切磋琢磨の四年の春秋、養ひ得たる鬱勃の意氣、抱負を語れや千餘のを。

(六)

(七)

金甌無缺の三千餘年、かがやく光は劍の譽、心はおなじ大和男子の、我等は牙籌を執つて起らむ、扶搖萬里の風を起して、おのが向々東に西に、雲に突き入る勢見よや。

寮歌

A handwritten musical score for "Hallelujah" in G clef, 2/4 time. The score consists of six staves of music with corresponding lyrics in Japanese written below each staff. The lyrics are: ハルトウダイニクサモエテ, オルヤーバンダノハナコロモ, ムラサキソムルクモマヨリ, アマツヒカリノサシソヘ, ピトモトキクノオヒシケリ, ャガテーサキヌルジチーナハナ.

寮
歌

	春筒臺に草萌にて 天つ光のさし添へば	織るや萬葉の花衣 一本菊の生ひ茂り	紫染むる雲間より やがて咲きぬる自治の華
(一)	見よ暁の明星の 告くる啓示を君知るや	下界の眼深き時 立てよ吾友自治の華	永劫不滅の光もて 理想の岸に咲かせなん
(二)	佛母山下の逍遙に 間はゞや故郷の父母如何に	仰ぎて思ふ師の教訓 <small>ヲシヘ</small> 今螢雪の青年が	茅渟の浦飛ふ白雲に 伏す籠池の四春秋
(三)	夏曙の空の色 剛毅の士氣を鼓舞しつゝ	秋蕭條の雨の夕 血は紅の若人 <small>ガ</small>	二層の樓の欄干に <small>オシマ</small> 期する經世の策や何
(四)	百騎の前に何がある 鳴呼徐に機熟し	菊の下行く溪水 <small>タニミヅ</small> 大牙一度動く時	全寮只是一心の 勾流さむ萬代に
(五)			

大旆

A handwritten musical score for a voice part, likely soprano or alto. The score consists of five staves of music, each with a treble clef and a key signature of one flat. The time signature varies between common time (4/4) and 2/4. The lyrics are written below each staff in Japanese. The first staff reads: 平 - イケ エイガ / ユメ / アト. The second staff reads: ナ - ンシ キレツ / ノ アルトコロ. The third staff reads: 麦秀 ウタフ / モノモナク. The fourth staff reads: キコフ / コエモ / タユタレド. The fifth staff reads: 商セン / ノヨノ / スサマジ / ク. The sixth staff reads: ミナトニ / トキノ / ヒビーキキ / ク.

大施
一 (神月)
平家榮華の夢の跡 楠氏遺烈の在る處 夢秀謡ふ者も無く
鬼哭の聲も絶にたれど 商戦の世の凄まじく 港に呐喊の響聞く
衢の東こゝに見る 巍峨壯麗の二層樓 漱灑の波、脚に寄せ
嵐翠の山、脊に在り 世の嵐をば隔つれど 是ぞ健兒等苦闘の地
舉措を失して彷徨し 奢に流れすば情に逸し 奇に偏せすば粗に失す
文明の風襲ひ来て 孤島桃李の夢破れ 戎に覺めし諸人は
斬馬の劍、腰に鳴る 机上の空論何か有る 章句の末枝主義ならず
啓示の光影清く 向上の駒嘶けり 怪風驀然起りなば
圖南の鵬翼是一搏 暗雲囂々漲れば 登天の飛龍只一躍
男兒一たび立たん時 阿修羅の如くたけびて 陸吹く風に海風に
大施翳し進みなむ 商戰場の只中に 高く凱歌を揚ぐるまで